

定期健康診断結果「視力」について



A	B	C	D
1.0以上	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満

低学年においても、視力が低下している児童がいることが分かります。



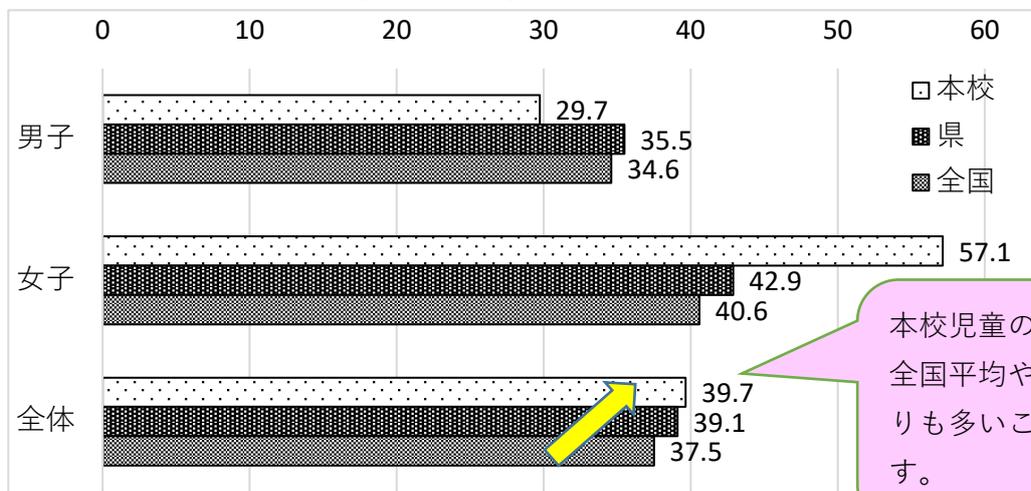
(1) 学年別 1.0 未満の者の割合 (%)

	裸眼視力			眼鏡等使用者
	B	C	D	
小1	50.0	10.0	0.0	0.0
小2	40.0	0.0	0.0	0.0
小3	20.0	13.3	6.7	0.0
小4	25.0	0.0	0.0	12.5
小5	0.0	33.3	0.0	50.0
小6	14.3	7.1	14.3	21.4
全体	24.1	10.3	5.2	12.1

高学年になると、メガネを使用する児童が増えますが、裸眼でC判定やD判定の児童も見られます。学校から受診のお勧めの文書が届いたら、なるべく早く眼科専門医へご相談ください。



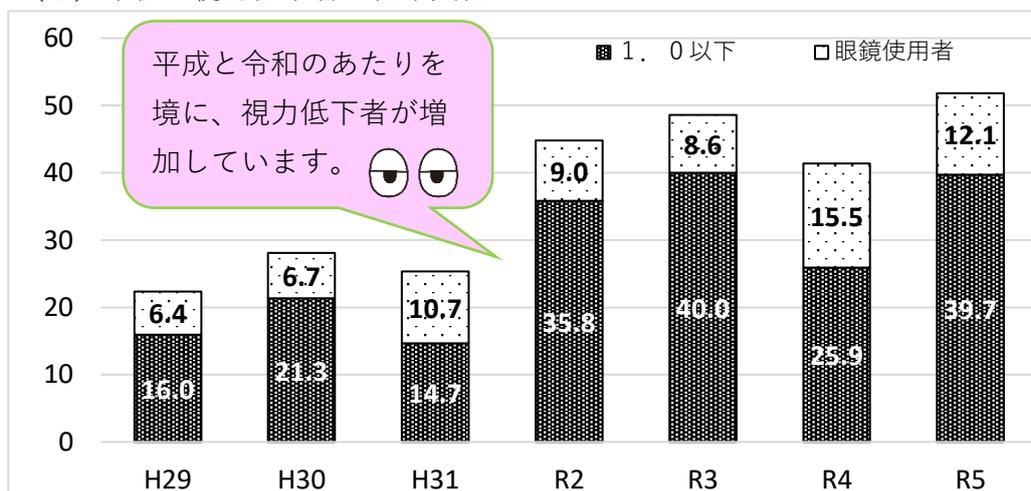
(2) 1.0 未満 県平均・全国平均との比較



本校児童の視力低下者が全国平均や茨城県平均よりも多いことが分かります。



(3) 本校の視力低下者の経年変化



平成と令和のあたりを境に、視力低下者が増加しています。

